

041102 No. \_\_\_\_\_

3年B組金八先生記念館設立活動提案書

# 3年B組金八先生記念館設立応援提案書

# 株式会社 桜中学校

葛飾には柴又に寅さん、そして亀有に両さん

足立には……

本書は提案書です。微力でも活動のお役に立てればという思いで書き下ろしております。  
本書をベースに署名活動をネットにて開始したいと考えております。  
多方面からアプローチして最終的には一つに統合しても良いかと考えておりますが。

(有)アズモード  
代表取締役 宮脇睦

金八記念館【 1】

会社も社員も元気になる！誰にでもわかる「営業戦略」を実績とともに提供します！

**AS**アズモード

有限会社 **アズモード** <http://www.as-mode.com>

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町3-8-26NSハイツA205 24時間受付TEL.&FAX 03-3898-9128 E-mail biz@as-mode.com

## ■序文

葛飾には柴又に寅さん、そして亀有に両さん・・・。

足立には世界のタケシ・・・しかし、今はもう住んでおらず、浅草のイメージも。

しかし、足立区には・・・足立区にしかない、桜中学。

そう、3年B組金八先生の桜中学校は足立区にしかない貴重な資産なのです。

## ■教育・文化・芸能の「関」、千住。

日光街道の最初の宿場町として、栄えた千住。

芭蕉の奥の細道の旅立ちの地として、古くより文化との関わりの深い土地柄です。

そして、2004年、文化・芸術の発信基地として、シアター1010がオープンしました。

また、北千住駅の北側には「生涯学習センター」、そして旧庁舎跡地には文化映像ライブラリーと都立大学と着々と教育・文化・芸能の街として変貌を遂げております。

そして千住の東側にあの幾多の名シーンを産みだし、四半世紀にわたって愛され、同時に、教育と生きることについて視聴者に問題提起し続ける、TBS（東京放送）の「3年B組金八先生」の主要なロケ地として・・・というより、「桜中学校」として利用され、放送された「足立二中」があります。



## ■スターの母校、桜中学校。

この「桜中学校（足立二中）」では、第一シリーズでは今や大御所ともいえる、田原俊彦、近藤雅彦、三原順子、小林聡美、鶴見慎吾、杉田かおるさんといったそうそうたる顔ぶれのスターが「在籍」していました。

田原俊彦さん、近藤雅彦さんとともに「たの金トリオ」で活躍した野村義男さんは、現在、「アユ」こと歌姫、浜崎あゆみさんのバックバンドのギターリストとしてミュージシャンとして大活躍されております。

第2シリーズでは川上麻衣子、沖田浩之（故人）、伊藤つかささん。

その後も亀梨和也、上戸彩さんなど、数え上げたらキリがないほどの「3B」の生徒が「桜中学校（足立二中）」から旅立っていきました。

## ■時代と正面に取り組んだドラマ

今やバラエティー番組で活躍されている杉田かおるさんの演じた15の母は当時、「中学生妊娠」という一大センセーションを巻き起こしました。

第2シリーズでは「腐ったミカン」という流行語を産みだし、当時社会問題化していた「校内暴力」真正面から取り組んでおりました。

今でも中島みゆきさんの「世情」が流れると「加藤」が連行されるシーンをスローモーションで思い出す方も多いのではないのでしょうか？

大人気アイドルの上戸彩さんが熱演した「性同一性障害」も、社会に与えたインパクトが大きいものでした。

今、全国の小・中学校で見かける「ソーラン節」の大ブレイクも、「3B」の生徒達のひたむきな姿に感化されて広まったと聞いております。

## ■桜中学が無くなる

何度か「河岸」を変えましたが、結局、「坂本金八」は「桜中学校（足立二中）」に戻ってきました。

そして、2004年の秋より「3年B組金八先生」の第7シリーズが始まりました。もちろん、金八の勤務先は「桜中学校（足立二中）」です。

しかし、残念なことによりこの「桜中学校」こと、足立区立足立第二中学校は2005年の3月を持って廃校となることになりました。

少子化の波は「桜中学校（足立二中）」にも容赦なく訪れたのです。

## ■桜中学校（足立二中）を取り巻く状況

統廃合の結果、足立第二中学校（二中）は統廃合となり、隣接校と統合され、別の場所で2005年4月に「千寿桜堤中学」として再スタートとなります。

そしてその跡地利用については表向きは白紙となっております。

これは東京新聞の記事に詳しいので、そちらを参照していただきたいのですが、足立区としては売却を検討しているというのです。

### ●東京新聞の記事

[http://www.tokyo-np.co.jp/00/thatu/20040812/mng\\_\\_\\_\\_thatu\\_\\_000.shtml](http://www.tokyo-np.co.jp/00/thatu/20040812/mng____thatu__000.shtml)

これは最近の「都心過疎」の流れから、好立地にある「学校施設」の売却の流れに沿ったものといえるでしょう。

それは殆どの公立学校は設立時の「利便性」から、一等地に立てられていることが多いからです。

二中は「堀切駅」の目の前にあるため、「売り頃物件」とも言えるのです。

そしてその準備は殆どの足立区民の同意を得ることもなく、着々と進められております。事実、私も読売新聞の江東版で初めて知りました。



## ■失われたら永遠に取り戻せないもの

確かに私も区民として、厳しい区の財政は知っています。

しかし、売り払って一時所得を得て、その代償に永遠に失われるものもあるのです。

例えば同じ足立区の綾瀬ともつながりがある新撰組が駆け抜け、幕末の英雄達がその理想を燃やした都、京都。

ここに対照的な二つの旅館があります。

### それは寺田屋と池田屋。

どちらも幕末の歴史小説では欠かせませんが、今、池田屋を池田屋として訪れる人はあまり多くありません。

寺田屋は往事を伝えておりますが、池田屋のあったそこは今はパチンコ屋になっているのです。

また、足立区のお隣の川口市はかつて「キューポラの街」として、吉永小百合さん主演で映画にもなったほどですが、東京のベッドタウンとして開発が進み、今では細々と受け継がれているだけです。

文化で腹は膨れないかも知れません。しかし、失われた文化は取り戻せないということも同時に知っておく必要があるのです。

## ■金八記念館設立という希望

そんな中、「3年B組金八先生」シリーズの原作者である小山内美枝子さん、同シリーズ制作 TBS プロデューサー柳井満さん、そして二中 P T A 会長の羽毛田順さん達が「金八記念館」として二中を残そうとしているのです。

「金八記念館」は二中の校舎をそのまま活用して、「3年B組金八先生」の各種ライブラリー施設に、給食設備を活用した「給食メニュー」のレストランを運営しようというのです。

展示場所以外の「空き教室」を常設の演技稽古場として、今流行の小劇団などに貸し出します。

そして、教室、校舎、校庭、体育館などは「撮影施設」として貸し出すというのです。

観光施設としても次世代の文化人を育てる、インキュベーション施設としても「駅前」というのはこれ以上望みようがない立地条件といえるのです。

そう、「金八記念館」には観光施設にはない幾つもの可能性があるのです。

## ■近隣他区の状況

「都心過疎」は殆どの区で深刻な問題になっております。

その中で、荒川区では旧荒川区立道灌山中学校を「西日暮里スタートアップオフィス」として、IT起業を目指す人へ貸し出しを始めております。

また、同校舎の「生徒がいない」という特性を利用して、積極的に映画やドラマの撮影を呼びかけております。

北区では同区の知名度向上のため、荒川（放水路）と隅田川が交差する岩淵水門のあたりを利用して、積極的に撮影隊を呼び込む活動をしております。

これは同区内の「王子」や「赤羽」の知名度はあっても「北区」の知名度が低いことを気にしての取り組みです。北区は大阪や札幌にも同じ名前があり、そこも知名度を下げている理由ではないかといわれております。

そしてその取り組みにより、最近の仮面ライダーシリーズや、スーパー戦隊シリーズなどに使われるようになりました。皮肉なことですが、荒川を挟んで対岸にある埼玉県川口市の高層マンションが移るので場所を特定できます。

また、「凜ちゃん」で話題をさらった「僕と彼女と彼女の生きる道」での散歩シーンも北区の荒川土手が使われておりました。

## ■足立区・桜中学の優位性

寅さん、両さんの葛飾区のように名物キャラクターのない、近隣他区では様々な努力により地域活性化に取り組んでおります。

例えばNHKの朝の連続ドラマで取り上げられた地方は、そのドラマを軸に「町（村）興し」をします。それは知名度のない地域にとっては千載一遇のチャンスだからです。

それでは足立区はこの「金八」という「資産」を活用してきたでしょうか？  
残念ながらされてこなかったように感じます。

しかし、この「金八」「3B」という「資産」は、荒川区にも北区にも葛飾区にもないものなのです。

そして2大スターを抱える葛飾区にはなく、足立区と桜中学（足立二中）にあるものがあります。

それは今も続いており、そしてそこにあるということです。

日本国民が愛した「寅さん」の新作はもう見ることはできません、そして「両さん」はアニメですので「そこ」にはないのです。

しかし、「金八」は今もなお、新作が作られ、桜中学（足立二中）がそこにあるのです。

これは足立区だけの特権です。

## ■足立区のベクトル

また、足立区は北千住駅前の丸井に文化・芸術の発信基地として、シアター1010を作り、駅前のテラスには大型巨大ヴィジョンを設置しております。

千住新橋のたもとには巨大な生涯学習センターを建て、区民の生涯学習のための活動をしております。



そして、旧庁舎後のデジタル・ファクトリーを建設し、映像ライブラリーや都立大学の誘致などと、文化・芸能・教育への比重を増やしております。

仮に文化・芸能・教育を軽んじているのであれば、これらの施設を作った理由が見つからないからです。

それならば、現在でも十分に資産価値のある「桜中学（足立二中）」を売却して「一時所得」を得るのではなく、その資産価値を有効活用することこそ、今、足立区が向かっているベクトルではないでしょうか？

一方で知名度のないゼロから立ち上げる文化施設を建設して、一方で知名度を持ち一部の改装だけで文化施設になり得る建物を売り払うのなら間尺に合いません。

## ■株式会社 桜中学校

しかし、残念ながら世の中お金というのは重要となります。

それはそうですね。少なくとも私達足立区民は住民税により、足立区にお金を払っているわけですから、際限なく使われてもたまりません。

しかし、こういうのはどうでしょうか？

区民、また、その賛同者に出資させるので、一口1万円でも1,000人集まれば1,000万円です。

さすがに学校を買い取るのは現実的ではありませんが、足立区の固定資産税や、初年度の運営費を集めることは可能ではないでしょうか？

株式会社桜中学校では出資者を「理事」と呼び、運営に関する助言と名誉を与えるのです。

また、出資者に企業や団体を加えればもっと資金調達は用意になることでしょう。

運営に当たっては「利益」をだすことを前提として、その「利益」を「地域活性」や「教育」に「投資」させるのです。

### その為の株式会社です。

もちろん、NPOや有志団体でも第3セクターでも良いのですが、継続して運営して行くには「利益」がでなければ続かないからです。そして「株主配当」の代わりに「未来」に「投資」していくのです。

その「投資先」は足立区内に限らず、教育文化の為ならどこでもアリにしても良いかも知れません。

そうすればこのケースが「足立モデル」または「桜中学モデル」として広まるからです。

### 足立発！幸せのお裾分けです。

## ■あしがきにかえて

桜中学がなくなると読売新聞の江東版で読み、「残念だなあ」と思っていたところ日幸印刷の石黒さんからFAXが届き、お電話を頂きました。

### 「金八の件で話しがしたい」

最初は何のことかと思いましたが、お話を聞いてみると本文中にもでてくる二中PTA会長の羽毛田さんと同じ異業種交流会、「オンリーワン」に所属しており、この活動を支援しているとのことでした。

私は日幸印刷の石黒さんとは、足立区の主催する「創業者支援若手塾（経営コンサルタント：三原宏方講師）」でのお知り合いです。

お会いしてお話をしてみると「私の力で役に立つのなら！」という訳で本レポートを書き上げました。

実は私は第4シリーズのロケ地に使われた同じく足立区の「江南中学校」の卒業生。そして、私達が多分、江南中学校の最後の「校内暴力世代」でした。

私はやりませんでした、そこに暴力があるのが日常の中学時代でした。

しかし、そんな同級生のヤンキー達も「腐ったミカン」を殆どのヤンキーが見ており、「金八」というのは多分私達の共通体験なんだろうね。

その後、数年が経ち、母親が当時営んでいた「内職工房」を手伝っていたことの話です。

もう時効の話ですが、その工房では不法滞在のフィリピンの方を使っていました。言葉ちょっと通じない以外は、時給も待遇も日本人と同じにして、私達にとっては貴重な仲間でした。

そんなある日、フィリピン人の「ローラ（仮名）」が帰国することになりました。

私達は近所のカラオケボックスでささやかながら送別会を開きました。

みんな、泣いたり、笑ったり。

惜しむ時間はアッという間に流れるもので、お開きの時間になりました。

最後のシメに「贈る言葉」を私が歌うこととなりました。決して歌が上手いわけではありませんが、他に適任者がいなかったことが理由です。

しかし、ローラのために心を込めて歌いました。

送別会には2人の16才のヤンキー娘もおりました。一人の母親がパートしてきていたのが縁で働いてもらっていました。

このヤンキー娘達はイントロだけで泣き出してしまいました。

「中卒」のこの愛おしいヤンキー娘達には「つい最近」の卒業式を思い出したそうです。

ローラは日常会話も苦手なぐらいの日本語力ですから、私の歌う「贈る言葉」を理解できません。

隣りに座ったフィリピンの国立大学卒業後、政変の為に嫁ぎにきた才媛「アイちゃん（仮名）」が隣で訳しています。

一語、一語、日本語がタガログ語に訳されるたびにローラの目から涙がこぼれます。

曲が2番に入るとアイちゃんは、しゃくり上げながら訳していました。

その場にいる全員が泣いていました。  
ローラには、私達の思いが伝わったと信じています。

「贈る言葉」。  
誰彼となく別れを惜しむ時にはこの歌が選ばれますが、それは歌の力だけでは生まれ  
なかったことでしょう。

なぜなら、私とこの愛おしい「中卒」のヤンキー娘達の頭の中には、荒川土手と桜中  
の映像が浮かんでいたからです。  
私は当時 24 才。16 才の少女達と同じ「体験」を共有してたのです。

そして偶然にもローラを見送ってから、今年で 10 年。  
金八の新シリーズが始まりました。

いつのまにやら「親子」でみる番組になっていました。

そんな時、こういった「出会い」がありました。  
そして、今、あなたとこうして「出会う」ことができました。  
桜中学という「文化」を残したいという思いに共感いただける方は、是非、お名前を  
ご記入下さい。

ご記入いただいたメールアドレスに「出席番号」を送らせていただきます。

また、直接足立区にご意見を伝えたい方は下記アドレスよりご意見をお送り下さい。

■足立区政策課

[seisaku@city.adachi.tokyo.jp](mailto:seisaku@city.adachi.tokyo.jp)

平成 16 年 11 月 2 日 (火)  
有限会社 アズモード  
代表取締役 宮脇睦 (みやわきあつし)  
<http://www.as-mode.com>  
足立区古千谷本町 3-8-26-A205  
TEL/FAX 03-3898-9128

金八記念館【 12】

会社も社員も元気になる！誰にでもわかる「営業戦略」を実績とともに提供します！

ASMODE

有限会社 アズモード <http://www.as-mode.com>

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町3-8-26NSハイツA205 24時間受付TEL.&FAX 03-3898-9128 E-mail biz@as-mode.com